



第154回 水質試験方法等調査専門委員会（2月16日）

現在の告示法における当面の課題について検討を行った。具体的には、水銀検査における試料保存時のL-システインの添加を可とすること、ハロ酢酸の検査で使用する溶媒をMTBEからメタノールに変更すること、機器分析における検量線の濃度範囲を試料濃度に適したものとすること、大腸菌の培養時間に幅を持たせること等を取り上げた。また、精度の確保が難しく、他の検査方法でも代替可能と思われる検査方法については、削除することも視野に入れることとした。



第29回 IWA 日本国内委員会（2月17日）

2010年9月にモントリオールで開催されたIWA世界水会議・展示会について報告があり、日本から7名のフェローが誕生したことが報告され、同時に開催された理事会と戦略評議会の内容について概要が報告確認された。

次に1月20～21日に横浜で開催された第6回IWAワークショップについて報告があり、その高く評価される成果を広く紹介する事が提案された。

続いて本年10月2～6日に東京で開催予定の第4回IWA-ASPIRE会議の準備状況について、投稿論文数が予定よりかなり多く集まっていること、展示会・スポンサーの申込みが順調に集まっていること、いくつかのサイドイベントを計画していることが報告された。

その他、これから開催されるIWAの国際会議への参加予定、LET（先端技術会議）の誘致予定等について報告された。

続いて2011年度のIWAフェローの推薦について審議し、日本国内委員会から3名のIWA個人会員を推薦する事とし、本人の確認をとった上で手続きを進めることを承認した。

次にIWA日本国内委員会の体制強化について、現在、日本水環境学会と本会で分担している委員会体制に下水道協会の加入を勧める事、さらに企業の参加を諮る方法等について審議され承認された。

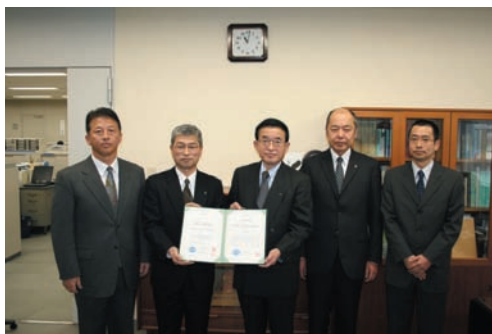
第31回府県営水道連絡協議会（2月18日）

情報交換事項として、①水道施設整備費補助（水道水源開発等）の一括交付金化に伴う各府県の取扱いについて、②耐震化対策の実施状況について、③法令外分担金等の縮減への取組について、④水道における国際展開（水ビジネス、国際貢献等）に関する取組状況について

て、⑤広域水道における「おいしい水」の取組について、⑥受水市町の契約水量の減量について、⑦管理道の管理方法について、それぞれ意見交換を行った。

水道 GLP 認定証授与式（2月18日）

水道 GLP 認定委員会で認定が決定した北千葉広域水道企業団（申請番号：JWWA-GLP071）の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



第650回抄録委員会（2月18日）

本誌5月号に掲載する海外文献の抄録内容及び海外文献目録の和文題名について審議した。

第148回水道技術管理者協議会（2月21日 於：千代田区）

設定議題①膜処理施設の導入について、②配水管における更新基準の設定について、③大口径管（ ϕ 400mm以上）の布設替工事について、④配水管更新工事における現場監督業務委託について、⑤配水管布設替工事に伴う仮設配管設置における使用材料の選択及び既設管との連絡工事について意見交換を行った。

また、JWWA規格の改正、水道工事監督業務検討専門委員会・水道施設管理業務検討専門委員会の設置、耐震技術検討専門委員会の設置、広域化・公民連携推進に関する講習会等の開催などについて報告を行った。

第55回水道 GLP 認定委員会（2月22日）

水道 GLP 認定について、更新検査機関として福岡地区水道企業団（認定番号：JWWA-GLP020、2月27日付）、久留米市企業局（認定番号：JWWA-GLP021、2月27日付）が、認定維持検査機関として高松市水道局（認定番号：JWWA-GLP044）、茨城県企業局（認定番号：JWWA-GLP045）、社団法人山梨県食品衛生協会（認定番号：JWWA-GLP046）が、それぞれ審議され決定されました。

水分野の国際標準化戦略検討委員会第3回水道部会（2月23日）

事務局及び水道技術研究センターより第1回及び第2回水道部会並びにヒアリングのまとめの報告を受けた後、厚生労働省より水分野の国際標準化戦略（府省案）について説明を受けた。また、今後の検討体制について説明を受けた後、質疑応答を行った。



第895回会誌編集委員会（2月24日）

本誌3月号、4月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱い並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。

第153回水道統計編纂専門委員会（3月11日）

議題(1)「平成22年度水道統計調査の見直し」についてを上程し、厚生労働省並びに事務局より詳細な説明が行われた後、審議を行った。



第651回抄録委員会（3月11日）

本誌6月号に掲載する海外文抄録内容及び海外文献目録の和文題名について審議した。

